

# 社会福祉協議会って何だろう!?

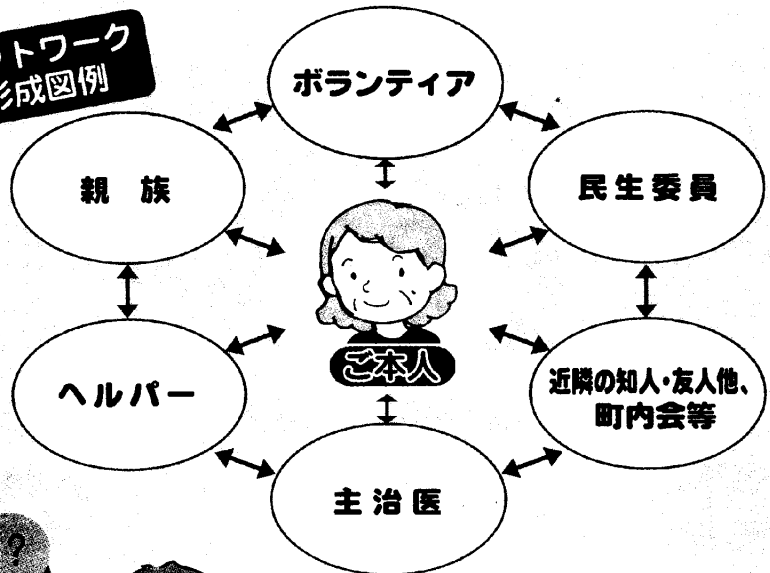
その2

今回は、地区社会福祉協議会の主要な活動である『福祉のまちづくり事業』の中のひとつ、『近隣ミニネットワークづくり推進事業』の取り組みをご紹介します。

## 近隣ミニネットワークって…?なんだろう?

高齢者や障害者、児童等で見守りや何らかの支援・援助を必要としている人たちへの、近隣住民を中心とした見守り活動や連絡体制づくりをすすめるものです。併せてその方を中心に、関係する機関・団体（民生委員、ボランティアなど）による支援のネットワークづくりを行います。

ネットワーク  
形成図例



どのような方を対象にしているの?

A. ひとり暮らしの高齢者の方  
病弱な高齢者夫婦世帯、障害者世帯  
閉じこもりがちで近隣関係の希薄な高齢者、障害者など…です



どのような趣旨で…?

A. 対象となる方の、万一の場合に備えた安否の確認や、日常生活のちょっとした支援をすすめるための取り組みです。  
(※最近では、災害時の支援にもこのネットを生かした取り組みがすすめられています。)

ひとり暮らし高齢者の方には、「あんしんカード(緊急連絡カード)」を必要の方にさし上げています。

氏名	性別	年齢	住所
電話番号	緊急連絡先	近所の人	近所の人
119	110		

表

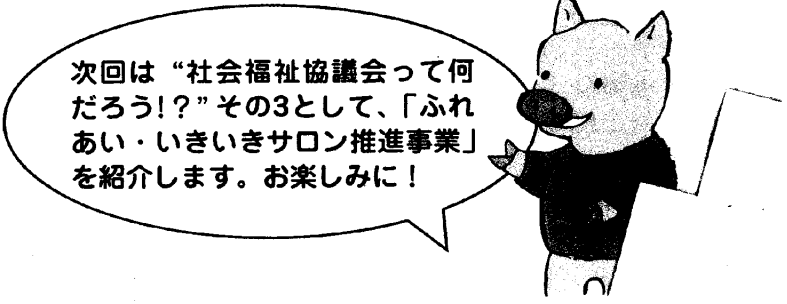
生活福祉課	生活福祉課
生活福祉課	生活福祉課
生活福祉課	生活福祉課

裏

安心カード▶

氏名	性別	年齢
住所	電話番号	緊急連絡先
近所の人	近所の人	近所の人

大芝地区社会福祉協議会では、独自の近隣ミニネットワーク要領を作成され、民生委員さんや町内会のみなさん等の協力により活動をされています。そして、高齢者等で長時間ひとりであることが多いなどの要支援者宅を訪問し、日常の安否確認や非常時に適切な対応が出来る体制が作られています。



次回は“社会福祉協議会って何だろう!?” その3として、「ふれあい・いきいきサロン推進事業」を紹介します。お楽しみに!